

YAMATO NEWS

2012.Jul
No.
_406

Yamato

ヤマトニュース
お客様と大和製衡(株)を結ぶ情報誌

2012.07.12 / ラヴィマーナ神戸

2012年度研修会開催

製品情報

- DP-6302II・DP-6101Uシリーズ
- 卓上データウェイ™応用による省力化
- 高速ロータリーグレーダ

展示会レポート

- PROPACK ASIA 2012 (海外)
- FOOMA JAPAN 2012 (国内)

Pick up
Contents

トラックスケール1台で1日
750台以上の車輛計量も可能に

ETCシステム

90th

かけあし
九十年史

皆様に支えられ、おかげさまで90周年





Yamato

2012.7.12 // ラヴィマーナ神戸

研修会開催

2012年度 **Yamato** 研修会を、
全国の有力販売店様 36 社のご
参加を賜り、7月12日に兵庫
県神戸市のラヴィマーナ神戸に
て開催いたしました。

開会宣言・社員紹介の後、川西社長より2011年度売上げ拡大にご尽力頂いた販売店様に心よりの感謝を込め、感謝状を贈呈させていただきました。そしてご出席各社のご代表として、恵藤計器株式会社 恵藤社長様より謝辞をいただきました。

また、特別表彰として、2011年度弊社の重点機種について最も顕著な貢献を頂いた販売店様に対し、感謝を込めて表彰させていただきました。

このあと長尾執行役員より、2012年度普通はかり事業部方針を以下の通り発表いたしました。

「普通はかり事業は、従来の単品販売(物)から作業改革の提案(質)への転換を行う、また、新カテゴリー商品による事業の拡大(新規市場の創造)に取り組む。これにより、定量市場でのトップシェア確立をビジネス提案の基本戦略として事業を推進していく。」

新商品展示コーナーでは、重点機種のDP/UDS/TDWを用いた定量コンセプト商品として、ランク組合せ機能、減算式個数指示はかり等の紹介と、自動排出機構付き組合せはかりでは、自動包装機と連動したシステム商品を展示し、作業改善による顧客メリットの説

明を行いました。また産機製品では革新技术を搭載した次世代形パッカースケールと、ETC対応のトラックスケールを、自動機器製品ではセミオートデータウェイ™SDWシリーズの紹介を、新たなビジネスの事例を交えて発表いたしました。



研修会の後、ラヴィマーナ神戸内のディナーショー会場において、皆様の日頃のご愛顧に感謝する懇親会を開催いたしました。

会場では、Yamato_Music_Festival_Vol.12と題し、オペラの鑑賞やプロのサクソフォン演奏による華やかなステージと、昨年に引き続き川西副社長を含むYamato社員バンドのサプライズ演奏を行い、大変な盛り上がりの内に終わりました。

翌13日はゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフは名門コース“広野ゴルフ倶楽部”でのプレーを、観光は平清盛が神

戸の地において活躍した約14年間を振り返る史跡巡りと、大河ドラマ「平清盛」の世界を体験できる「ドラマ館」を観光し、昼食はビーナスブリッジの近くにあります再度山荘にてお互いの親睦を深めていただきました。

2日間にわたる研修会・懇親会・観光を無事終了することができましたことは、ご参加いただきました皆様のご協力の賜物と深く感謝いたしております。



現在、トラックスケールを使用するにあたり、必須となる操作が「車番の入力」です。この車番の入力に関しては、従来よりトラックの運転手あるいは専属のオペレータによる手入力、RFIDカードもしくはパンチカードによる入力の2種類の方法がありました。これに変わる第3の方法として、大和製衡は「ETCシステム」を御提案いたします。

本システムは、一般的に高速道路等で使用されているETCシステムをトラックスケールに応用したものです。トラックに搭載されているETC車載器の固有番号をトラックスケールに併設するETCアンテナで読み取り、車番情報として使用します。

このシステムの特徴は、①煩わしい

操作(キーボード操作による車番入力、カードをかざす等)をすることなく計量ができますので、人為的な計量ミスが無くなると共に、計量作業の無人化が可能です。②無線による遠隔通信のため、トラックを走行させたままでも計量でき、スピーディーな計量(計量待ちの緩和)が可能です。

スマートなETCシステムで車両計量！

このシステムを石巻市の瓦礫処分場に納入させていただきましたので、使用実例としてご紹介いたします。

こちらでは、6台のトラックスケールを併設し、6台の内5台にETCアンテナとカードリーダー盤の両方が設置されています。(1台は臨時入構車両専用のため、カードリーダー盤のみでETCアンテナは設置されていません)そして、ETC車載器を搭載した車両はETCシステムによって車番入力し、車載器を搭載していない車両はRFIDカードにより車番入力します。

この処理場では全車停止計量を行いますが、ETCシステムの場合、車両が

載せ台上に乗り始めると共に車番の読み取りが自動で始まりますので、乗り終わった段階では入力が終了しております。このため、カードを使用する場合と比較して、トラックの窓を開ける→カードをかざす作業が無い分、より短時間での計量が可能となります。

現在は本稼働前ですが、本稼働になればトラックスケール1台で750台/日以上での車両計量を行います。

今後、大和製衡では、ETCシステムを採用したトラックスケールをこの度のような大規模処理場だけではなく、一般のユーザ様にも展開してゆきます。

ETCシステム

トラックスケール1台で1日
750台以上の車両計量も可能に



【ETCシステム】

トラックスケールを通過するだけで車番の読み取り、計量が完了する



【RFIDカードリーダー】

ボタン操作とカードをかざす必要があった従来の操作盤

製品情報

PRODUCTS
NEWS

完全防水形デジタル台はかり

Products News 01

DP-6302 IIシリーズ

IP68のオールステンレス、
過酷な生産現場にも対応した堅牢なボディ



特長

- ① IP68の防塵・防水設計
- ② 高さ48mmの見やすい大形バックライト表示
- ③ マルチファンクション機能(DP-6302 II WPのみ)
定量計量機能・配合計量機能・チェッカ機能・ランク選別機能を標準装備
- ④ 表示部の角度は調節可能
- ⑤ 精肉・鮮魚用の取引に使用される計量単位(目量100g)
(DP-6302 II DXのみ)
- ⑥ 計量した質量から水分率を差し引く、水引機能を搭載
(DP-6302 II DXのみ)
- ⑦ 活魚の計量もOK、表示固定機能を搭載(DP-6302 II DXのみ)

U型デジタル台はかり

Products News 02

DP-6101Uシリーズ

移動が可能なU型デジタル台はかり



特長

- ① 丈夫なパレット等をU型台はかりの上に乗せれば、
デジタル台はかりになります
- ② 計量部の前面にキャスターが付いているので、移動が簡単
- ③ 電源は単1乾電池×4本で連続240時間、省エネ設計で
電源のない所でも使用可能
- ④ 使用用途に応じた定量計量機能・チェッカ機能・ランク選別
機能を搭載、作業形態に応じた使用ができ、作業効率アップに繋がります

防水仕様ハイスペック給袋式袋詰め包装機との連動による省力化

Products News 03

自動排出機構付卓上データウェイ™ TSDW-205Wと 包装機との接続

被計量物を包装機に直接供給することで、作業の簡素化とコンパクト化をご提案

【ターゲット計量物】

バラ肉・手羽先・ジャーキー・冷凍食品(魚の切り身・冷凍エビ・イカなど)
※1日あたり3000パック～5000パック以上製造されている食品加工業者にご提案ください。

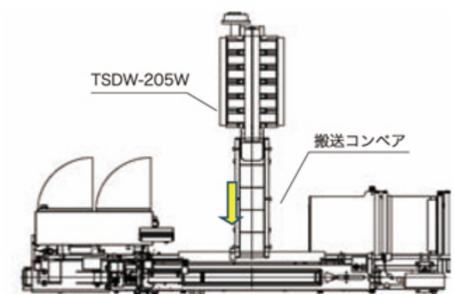


訴求点

- 計量器・包装機ともに防水仕様。洗浄も容易で衛生的です。
- 包装機と連動させても高さ1,600mmと工場高さを心配することなく提案が可能です。

自動包装機導入による省力化メリット

- 作業人数の削減 5名→2名 3名削減による効果
約3,000,000円(一人年収1,000,000円と試算)
- 被計量物に触る回数 2回→1回 製品の傷みを最小限にすることができます。



ご提案スペック

【作業能力】 20～25袋
【包装機対応袋サイズ】 幅50～500mm
長さ75～470mm
【防水仕様】 TSDW・包装機共に

高速ロータリーグレーダ

水産物や水産加工品の高速・高精度重量ランク選別を実現する高速多段階選別機“ロータリーグレーダ”を今年4月1日より発売いたしました。



水揚げされた魚を独自の高速回転式マルチロードセル計量方式により、最大8ランクで1分間あたり最高能力さんま350匹、さば250匹を選別いたします。(従来ベルト方式の3倍速)
 昨年の東日本大震災で東北太平洋沿岸の多くの漁港が被災したため、水産関係各社が復旧復興を目指す中、省スペースで移動使用が可能な鮮魚用選別機のご要望がありました。これに対し当社は復興支援の一環として開発に取り組み、今年の漁獲最盛期前の市場導入を目指して、僅か1年の短期間で“高速ロータリーグレーダ”を開発いたしました。

高速・高精度選別

ロータリー方式により、1回転の間に自動供給・計量・選別を高速処理。(さんま 毎分350匹)円形に配置した高精度ロードセルとコンピュータ制御で高精度計量を実現し、高速選別で鮮度の低下を防ぎます。

オールステンレス構造で高い清掃性

本体はステンレス構造で、錆や汚れに強く、器物全体の丸洗いが可能。清掃性を高めた防水仕様で清掃時間を短縮し、衛生面にも優れています。

自動供給システム

供給コンベヤは計量ホッパーの動作に合わせて自動で同期を行い、確実な供給・計量を実現します。誰でも簡単に選別作業ができ、作業者の負担を最小限にし、省力化に貢献します。

ホッパー式計量部

ホッパー式の計量部により汎用性が高く、あらゆる水産物に対応可能。
 (用途例)さんま、さば、あじ、金目鯛、ほっけ、いわし、いか、うなぎ等

省スペース設計

- コンパクトな設計で省スペース化を実現。スペースをとらずにお客様の多彩なライン構成に対応できます。また、本体は容易に移動でき、設置場所を選ばず、用途に応じたライン化に対応できます。
- カラータッチスクリーンの高性能指示計は、「見やすさ」「使いやすさ」を追求し、誰でも簡単に設定・調整が可能です。また運転状況や集計情報をリアルタイムで分かりやすく表示し、一目で確認できます。
- USBポートを標準装備し、集計データや設定データを簡単に保存することができ、パソコンでデータ管理を行うことができます。

product characteristics



新製品 データウェイΩ™フロンティア ADW-O-0314F (組合せはかり)

2012年6月13日～16日の4日間、毎年開催されるタイ最大の食品加工・包装機器展 PROPAK ASIA 2012がバンコクのBITEC (バイテック)で行われました。今年は開催20周年の節目でもあり、40カ国から参加企業1,272社、61カ国から訪問者33,376人と昨年を上回る活気がありました。



ADW-514ACC



TOMCO 社ブース



Better Pack 社ブースでの卓上データウェイ™デモ

本展示会では、当社製品が展示されたブースが3か所あり、数多くのご来場のお客様にYamato製品を見ていただくことができました。まず、Better Pack社 ブースにオートチェッカEシリーズ CSE22L-F0P(フリッパ振分装置付)および自動排出機構付卓上データウェイTSDW-205を展示。他社に類のない新製品であるTSDWは鶏肉サンプルと本物のソーセージを用いた実演を行い来場客の関心を惹き付けました。

独自のコンセプトを持つ製品群で、世界に Yamato ブランドを。

今回タイでの当社新規代理店として出展したTOMCO社ブースではデータウェイ™αプラスADW-514ACC(14連)を展示し、ナッツを使ったデモを行いました。また、JAPANブース内では、日本の包装機メーカ(株)川島製作所殿が新製品データウェイΩ ADW-O-0314Fを自社製包装機とともに展示し実演を行いました(25gのパスタを140～150計量/分で実演)。このデータウェイΩフロンティアシリーズは包装機への供給装置であると位置付け、計量機の技術によって「包装機の能力を最大限に活用する」ことを基本思想として開発されています。少し詳しく言いますと、1台の組合せ計量機に、複数の独立した排出

経路と排出ゲートを装備し、各々の排出ゲートから余裕を持って、かつ初速ゼロで、同時に被計量物を固まり状態で包装機へ供給するというコンセプトです。この技術により、計量後の被計量物の間隔(プロダクトウィンドウ)が十分に確保でき、その結果、シール不良など包装不良を大幅に軽減します。展示会は当社の製品がお客様のニーズにいかに応えられるかを知っていただく貴重な機会であり、今回も非常に内容のある引き合いをいただき、タイだけでなくとどまらずアジアにおける **Yamato** というブランド名を、そして、今後のさらなる可能性をアピールすることができたと強く感じております。

海外

PROPAK ASIA 2012

at BITEC (バンコク・バーンナー区)
2012年6月13日～16日



オートチェッカEシリーズ



今年も FOOMA JAPAN 2012 (国際食品工業展) が6月5日から8日までの4日間、東京国際展示場 (東京ビックサイト) で開催されました。

国内

FOOMA JAPAN 2012

at Tokyo Big Sight (東京都江東区有明)
2012年6月5日~8日

ADW-O-0314Sと(株)川島製作所殿の縦ピロー包装機を連動し、120回/分の高速運転を行いました。包装後、簡単調整・簡単操作で環境に優しい金属検出機一体形オートチェッカCSE22LM-F0で検査を行い、多彩な詰め形態に対応するケースパッカーFCP-550VAで箱詰めを実演しました。

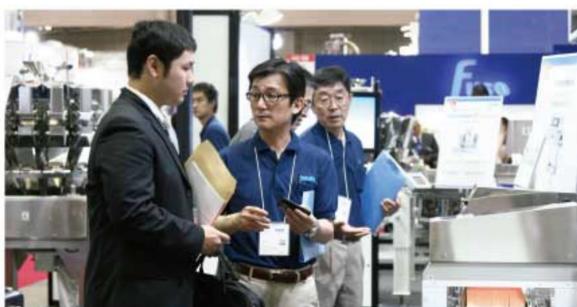
自動排出機構付卓上データウェイ™では、様々な包装機と連動させた展示を行いました。ベルト搬送方式により粘着物・バラもの・壊れ易い商品などホッパー方式では困難な商品搬送が可能で、人手作業で発生する計量ロスを削減いたします。また、単体で展示しておりましたスナック菓子味付け制御装置シー

食品工場のあらゆる行程において、 ユーザ様のニーズに対応できる商品をご提案させていただきます。

東全ホールを使用して「食の心 ここにあり」をテーマに666社が出展し、海外からの来場者数1,910名を含めて総数95,084名の総来場者数(主催者発表)がありました。

当社は、東6ホールに30小間のブースを構え、「定量計量が創るProduct Innovation」をテーマにデータウェイΩ™をメインとした搬送-計量-包装-検査-箱詰めまでの一連ラインを実演展示いたしました。

ズニングシステムは、簡単操作で、歩留まり・製品品質を大幅に向上させます。このような多彩な展示が効力を奏し、昨年を上回るお客様が大和製衡ブースに足を運んでくださり、多くのご相談・お引き合いを頂戴いたしました。大和製衡は、食品の味付けから搬送・定量計量・包装・検査・箱詰めまで、食品工場のあらゆる行程において、ユーザ様のニーズに対応できる商品をご提案させていただきます。



データウェイΩシリーズは、新しい「高固有振動数のロードセル」を採用し、あらゆる偏荷重に強く、製品落下によるロードセルへの振動を低減させ高速計量を可能にします。また、直進フィーダの供給システムは、従来の強制駆動とは異なる「共振駆動」を採用し、フィーダ振幅の立ち上がりと停止時間が大きく短縮制御され、各ホッパーへの製品供給精度は安定し、歩留まりが向上します。

ライン実演展示では、データウェイΩ



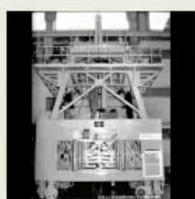
皆様に支えられ、おかげさまで90周年



1946



1954



1965



1974



1980



2002

1922年(大正11年)	株式会社川西機械製衡部として創業。
1945年(昭和20年)	株式会社川西機械製作所製衡部の権利・義務・人員等一切を継承して、大和製衡株式会社を創立。
1946年(昭和21年)	駐日米軍用バスルームスケールを製造開始。
1953年(昭和28年)	A型ヘルスメーター製造開始。健康のために不可欠なものとして、広く家庭に取り入れられる時代が到来。電子管式(ストレインゲージロードセル式)計重機完成。
1954年(昭和29年)	天皇・皇后両陛下下行幸啓、工場御視察を賜る。
1957年(昭和32年)	東南アジアへ向けての日本機械巡航見本市に参加。海外市場の開拓に努力。
1959年(昭和34年)	メートル法の完全実施。目盛単位はkg系に統一される。電子管式タイヤ操縦性能試験機開発。画期的な試験機として注目を浴びる。
1961年(昭和36年)	デッドウェイトマシン完成。通産省工業技術院計量研究所に納入。
1965年(昭和40年)	東洋一の超大形風洞天秤完成。航空宇宙技術研究所へ納入し、我国の航空技術研究の進展に大きく貢献。
1967年(昭和42年)	ダンプカー用自重計開発。
1968年(昭和43年)	フォースバランス方式計量装置、完成。造幣局へ納入、硬貨づくりにフル稼働。
1974年(昭和49年)	国産初、連続加圧滅菌装置を完成。
1975年(昭和50年)	デジタル表示器採用の台はかり“DP-1000”、完成。
1980年(昭和55年)	ロードセル式データウェイ™開発。コンピュータを利用した組合せ原理を用い、固形物等の定量計量に画期的な威力を発揮。さらに、商業はかりデータセルがドイツ連邦共和国物理工学研究所より、外国製品として初の型式承認を取得。
1981年(昭和56年)	世界初の話す料金はかり、音声付“SP-704”、完成。火力発電所向けに耐圧形給炭機を開発。
1984年(昭和59年)	ヨーロッパ駐在事務所開設。
1985年(昭和60年)	日本初の弦振動式ロードセル搭載の上皿自動はかり“UDS-1000”、完成。
1990年(平成2年)	上海大和衡器有限公司を設立。中国で工場の操業を開始する。
1992年(平成4年)	指定製造事業者、第1号に指定を受ける。
1993年(平成5年)	アメリカに子会社 Yamato Corporation を設立。
2002年(平成14年)	内臓脂肪を測定し、筋肉量もレベル表示できる高精度形体脂肪計“ボディプランナー™”、完成。
2005年(平成17年)	総重量に加え、軸重・輪重・変荷重が測定できる画期的なオールインワン形トラックスケール、完成。
2010年(平成22年)	革新的技術を投入した次世代への標準機“データウェイΩ™”、完成。卓上形セミオートデータウェイ™“TSDW-205”、完成。
2012年(平成24年)	創業90周年を迎える。

役員職掌

以下の通り役員の職務分掌が決定しましたので、お知らせいたします。

代表取締役社長	川西 勝三	
代表取締役副社長	川西 能久	事業本部長・MS経営責任者
専務取締役	大田 孝雄	総務部長
専務取締役	安尾 利和	事業本部副本部長 兼 産機事業部長
取締役	岡村 剛敏	事業本部 兼 自動機器事業部長
取締役	山本 勝	事業本部 兼 経営企画部長
常勤監査役	大松 基秀	
執行役員	中村 貞雄	事業本部
執行役員	長尾 武好	事業本部 兼 普通はかり事業部長

信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

本社営業 〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号
 東日本支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号
 中日本支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号
 千葉営業所 〒264-0025 千葉県若葉区都賀4丁目8番18号
 九州営業所 〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号

TEL.078-918-5555
 浜松町センタービル4階 TEL.03-5776-3121
 朝日生命名古屋栄ビル5階 TEL.052-238-5730
 ショー・エム都賀1階 TEL.043-214-3920
 博多エイトビル1階 TEL.092-471-1921

URL: <http://www.yamato-scale.co.jp/>